

| | | | | |
|------|---|-----------------|-----|-----------------------|
| 校訓 | 真善美 | 平成28年度学校だより | 発行日 | 平成29年1月10日 |
| 教育目標 | 自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる- | 「荒中だより」 第32号 | 発行者 | 伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之 |

平成29年年頭に当たって

皆さん、あけましておめでとうございます。冬休みは、時間を大切に使い充実した日々を過ごすことができましたか？ 一月は「睦月」と言います。語源は正月に親しい者が集まり、仲睦まじくするからとされています。皆さんは家族や大切な人と楽しい時間を過ごせましたか。



『一年の計は元旦にあり』と言います。これは、「何事も最初が肝心」または「最初にきちんと計画や目標を立て

なければならない」ということを表しています。皆さんは、今年はこのようにありたいというイメージを持ち、今年目標をもう立てたでしょうか？ すでに目標を立てた人は、「なぜその目標なのか？」「目標を達成して、手に入れたいものは何か？」



について考えているでしょうか？

皆さんはカメとウサギの話を知っていますね。ある日、好奇心旺盛なカメは、山の向こうにどんな世界があるのだろうか？ そんな思いを巡らすうち、何としても山の向こうの景色が見たくなり、山頂を目指しました。その途中で、足の速いウサギに出会い、山頂までかけっこしようと持ちかけられます。結果は、皆さんよく知っていますね。油断大敵の例えとしてよく使われる話ですが、ウサギが負けた理由は油断だけでしょうか？ 決定的な違いは何でしょう？ カメの目的は山の向こうの景色が見たかったこと。そして、目標はあきらめずに休まず歩き続けることでした。一方、ウサギはカメに勝つことが目的で、最初は大きくリードしま



すが、安心して木陰^{こかげ}で一休みしてしまいます。この目的の違いがウサギの敗因の一つだと私は思います。

『目標』はあくまで目印、しかし『目的』はねらいです。つまり、「何のために？」が『目的』です。その『目的』を達成するために何をやるかの目安が『目標』です。言い換えると、『目標』は『目的』のためにあるのです。例えば、部活動の大会でも人と競いますが、人に勝つことが部活動の目的ではありません。自分を、自分たちを高めること、成長させることが目的のはずです。大会で勝利することや優勝することを目標にはします。そういった目標を立てること自体はとても大切なことですが、あくまで自分自身を成長させることが目的なのです。



さて、皆さん、一年の初めにあたり学習面や生活面、部活動などそれぞれの目的は何かをよく考え、具体的な目標を立て、その目標を達成するために日々努力を続けてください。あと2ヶ月で卒業する3年生は、残る時間を存分に使い、知徳体の力を身につけ、社会で通用する人になってください。そして、最上級生となる2年生、中堅学年となる1年生は『先輩』と呼ばれるようになります。1、2年生の皆さんには、単に先に中学生になった先輩にとどまらず、今年入学してくる後輩がその背中を追いたくなるような先輩になってもらいたいと思います。

第66回伊丹市民駅伝競走大会 (28.12.17 瑞々池公園)

中学男子 荒中A (松本晴敏、田村飛翔、東野大希、福村勇揮、豊永雄太) **優勝**

荒中B (松島、村上、福田、佐々木、橋本) 9位

中学女子 荒中A (木田恵梨子、乾結羽、鏡堂野乃夏、

佐藤優美子、岡本玲奈) **2位**

荒中B (永野、友久、河井、西崎、林) 5位



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!